



28 放射線科医がCT・MRI の読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

解説	<p>高度な画像診断をより早く、より正確に行っていることが、高度な医療を提供する病院の基盤です。そのため、放射線科医による読影レポートが翌営業日までになされた率を指標とします。</p> <p>この算式は画像診断管理加算2の算定要件(80%以上)となっていますが、その基準達成に満足せず、より高い実施率を評価するものです。CT・MRIは、診断目的ではなく、治療効果の確認、病態変化の有無の確認等で短期間に繰り返し撮影される場合もあります。必ずしも放射線科医による読影を要しない状況もあり100%となるものではありませんが、実施率がより高いことが望まれます。特に、CT・MRIが放射線科医の管理の下に適切に行われていることを示す指標でもあります。</p>												
実績	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成24年度</td><td>91.70</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>91.43</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>93.23</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>94.59</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>94.48</td></tr></tbody></table>	年度	割合 (%)	平成24年度	91.70	平成25年度	91.43	平成26年度	93.23	平成27年度	94.59	平成28年度	94.48
年度	割合 (%)												
平成24年度	91.70												
平成25年度	91.43												
平成26年度	93.23												
平成27年度	94.59												
平成28年度	94.48												
定義	<p>CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた率です。「放射線科医」とは画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。</p>												